

# FHN diary

2026  
WINTER

vol.03

作家／日出真司  
タイトル／夢現(ゆめうつ)  
制作年／2025年  
素材／コットン紙、ピクメントプリント、額装  
写真／日出真司



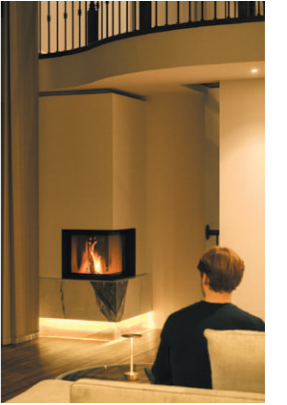
デジタル技法を駆使して写真をコットン紙にプリントした作品。カラーの花をモチーフにしている。  
夢なのか現実なのかわからない朧げな空気感をナチュラルトーンで表現。



シリーズ モデルハウス 瑞雅

Pickup

## ファイヤープレイス



伝統的な美的理念を尊重しながらも、新鮮で若々しい感性を取り入れた、クラシックとモダンの融合をコンセプトにしたモデルハウスです。建物内の2箇所、火を愉しむファイヤープレイスを設けています。いずれも古き伝統(たき火は集いの場)と今日のニーズ(デザイン性能)に応えた逸品です。是非、体感にお越しください。



リビングの薪ストーブは鋳物の置き型タイプではなく、チェコHoxter社の埋め込み型コーナー暖炉を導入。高温と熱衝撃に耐えるセラミックガラスが特徴で、広いガラスから眺める焔は、あたたかも野外で焚き火をしているような味わいです。  
「本物の薪火だけが持つ魅力と暖かさは、どんな最新の技術でも置き換えることはできません」(Hoxterの創設者)



主寝室のヌックはエタノール暖炉を設置。横長の綺麗なオレンジ色の炎を楽しむことができます。バイオエタノールを燃料とした暖炉で、煙やすすを排出しないため煙突や排気設備を一切必要としません。暖房能力も高く、燃焼時に発生する水蒸気により加湿効果も得られます。

## FHN's Style Spot

STORY.03

### 線の向こうにあるもの 画家・吉本作次さん



吉本作次さんは、一見すると静かな佇まい。しかしひとたび話し始めると、「誰か止めて〜!」と明里さん(奥様)が思わずツッコミを入れるほど、言葉が溢れ出します。そのギャップもまた、吉本さんの魅力のひとつです。

「ご自宅の庭に建てたアトリエ(共にフロンヴィルホームズ名古屋の設計施工)は、上部には天窓を設け、時間とともに変化する自然光が取り込まれます。床は土間壁は仕上げは施さず、余計な情報を極力排除した空間です。3mを超える大作も少なくない吉本さんにとって、作品を離れた距離から眺めることは、画力を測る大切なプロセスだそう。このスケール感を確保できることも、アトリエに求めた重要な条件でした。



アトリエ内の様子

近年、ご夫婦で熱中しているのが国内のパワースポット巡り。旅先で感じた空気、木々の気配、水の流れ、大きく表情を変えています。

存在。「じゃ、行ってきます。」そう声をかけて制作に向かうときも、日常から完全に切り離されるのではなく、地続きの感覚のまま創作に入っている。その距離感が、とても心地よいといえます。かつては、三重県の山にあるアトリエまで片道何時間もかけて通っていた時期もありました。



ニューヨーク滞在中、1980年代の作品  
2019年の作品 / 名古屋市美術館 展示

「環境で、作品は驚くほど変わるんです」と仰るとおり、吉本さんの作品は、制作場所や精神状態、体験によって大きく表情を変えています。



明里さんのコメントの影響力は絶大。制作中のアトリエは、基本的に「出禁」だそうです。

音楽、陶器、能、漢詩、書道——ジャンルを越えて学び続ける姿勢こそが、吉本さんの表現に深みをもたらしているように感じられます。

線が語るもの  
吉本さんが大切にされているものは、「線」。絵も書も同じ筆から生まれるもの。1990年代以降は新たな表現を模索し中国絵画の筆法から「線」の要素を取り入れるなどの探索が続けられています。建築の設計図やパースデザインにおいても、人の手が描く上手な線には、言葉にできない力があります。その魅力を、私たち自身も日々実感しています。

「説明がいらぬ、言語に頼らない、いつか、言葉を超えた作品を生み出したい。」と吉本さん。このアトリエから、これからどんな作品が生まれてくるのか——その先を、静かに、そして楽しみに見守りたくなります。

学び続ける姿勢  
「まだまだ学ぶことばかり。ずっと勉強で、修行のつもりです。」



アトリエ外観  
絵本の『小さなうち』みたくて可愛いくお二人が気に入っている一枚

オーナーズライフ

# OWNER'S LIFE

## 美意識にかなった家具と住まい

1990年代、シカゴでの暮らしを経て帰国されたご夫妻。

機能性に優れ、海外の住まいの空気感を感じられるマイホームを求め、輸入住宅を得意とする当社にご相談いただきました。

アメリカ住宅といっても、奥様のお好みは、出窓や装飾性の高いヴィクトリアン様式ではなく、すっきりとしたモダンテイスト。数多くの住宅雑誌を参考にしながら、設計士と打合せを重ね、住まいの輪郭が形づくられていきました。

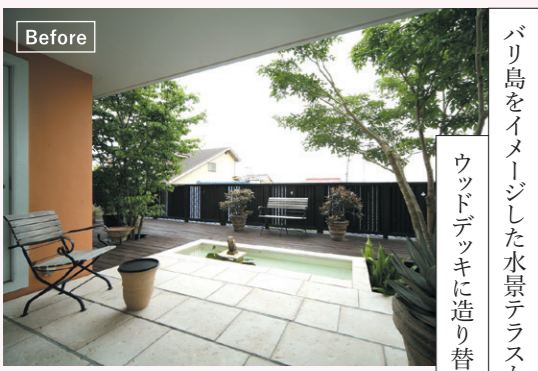
吹抜け廊下の手摺は、フランク・ロイド・ライトを思わせる水平ラインが印象的で、柱に照明を組み込むというご主人のアイデアが空間に個性を添えています。

### 築30年を前に、リビング・和室・外装を中心にリフレッシュ工事を実施。

室内の壁色は、新築当時、インテリアコーディネーターから「ご主人の職場が全面ホワイトなので、ご自宅では心が休まる淡いピンクを」と提案されたもの。当初は戸惑いもあったそうですが、とても気に入って愛着が生まれ、今回のリフレッシュ工事でも同じ色を選びました。

「家具が主役の家」と奥様が語られる、その空間を格調高く支えているのが、イタリアの家具や調度品です。中でも、一目惚れしたというチェコツティ (Cecotti Collection) は、今なおそれを超える存在に出会っていないのだとか。家で過ごす時間を大切にされるご夫妻にとって、ご自宅は本物に囲まれた心地よい居場所。新築当時の美意識を受け継ぎながら、暮らしに合わせて更新を重ねてきた住まいは、時とともにその魅力を深めています。

※Cecotti Collection: 1956年、イタリア・トスカナ州で創業、高品質の木材を使って作られる美しい曲線が魅力の家具ブランド



パリ島をイメージした水景テラスから、

ウッドデッキに造り替えました。



リビングの一角には、サロンのようにくつろげるスペースを設けました。



主に客間として使われる和室は、和モダンな空間へ刷新。

御影石の踏み込み、縁なし半畳畳、そして襖に施した柿渋はご主人のご希望が反映されています。



①②③ Barovier&Toso: 1295年にヴェネツィア・ムラーノ島で設立した、ヴェネチアンガラスを専門とする照明器具メーカー  
④ Leucos: 1962年ヴェネチアで創立。コンテンポラリーガラス照明のリーダー的存在



●二人掛け電動ソファ/NATUZZI: 1959年、南イタリアで創業のラグジュアリーブランド  
●黄色いソファとオットマン/ligne roset: 1860年にフランス・リヨン郊外で創業されたライフスタイルブランド  
●ラグ/Calligaris: 1923年創業のイタリアを代表する家具ブランド。中世のヴェネツィアで見られた伝統的なテラゾー（人工大理石）床を表現したラグ

# NEXT STAGE of HOME

住まいの、  
これから

フロンヴィルホームズ名古屋の住まいは、歳月を経ても素材が美しく、価値が落ちにくいことが特徴です。  
暮らしのステージに合わせて、住まいはさまざまに活かします。

一例

汚れた外壁、切れた防水  
シーリング(築10年)



before



after

外壁リフレッシュ工事で  
綺麗によみがえりました。  
窓に庇を追加しました。

### 1.売却でつなぐ

長年点検してきた当社施工の建物だからこそ、  
素材の良さと設計意図を正確に伝え、適正な  
価値で次のご家族へ継承できます。

### 2.賃貸で活かす

転勤・住み替えなどに合わせた賢い選択。建物  
を熟知する当社が、賃料設定から入居者募集、  
管理までワンストップで対応し、価値を守りな  
がら運用できます。

### 3.リフレッシュ工事で価値アップ

天然木の再生や設備更新など、素材の良さを  
活かしたアップデートで、住まいの印象と価値  
を向上させます。売却・賃貸前にも効果的です。

住まいの“次のステージ”も、私たちがサポートします。売る・貸す・住み続ける――

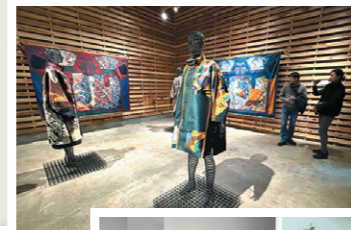
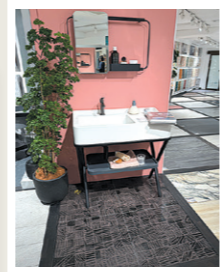
まずは「今の住まいの状態」や「今後のライフプラン」をお聞かせください。  
最適なプランをご提案いたします。

■お問合せ TEL.052-890-9630

実績やガイドなど  
詳細はこちら →



オーナー様専用  
LINE →



## 2026 WINTER

八事南山へ移転してから、初めての  
年越しを迎えました。この冬は、メー  
カー様の訪問やアート研修など、学び  
の多い時間となりました。また、若手  
スタッフも模型製作やプレゼンテー  
ションの場で力を発揮し、活躍してい  
ます。まだご覧いただいていない方  
は、ぜひ新しいショールームとモデル  
ハウスへお立ち寄りください。

## PICK UP 道草日記



## 〈はばたきファミリークリニック〉



「はばたき」  
ファミリークリニック



instagram



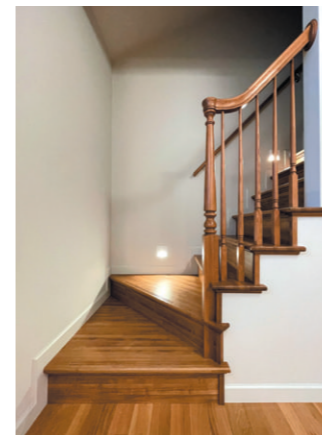
餅まき開催のお知らせ  
建築の節目となる上棟を記念し、  
餅まきが開催されます。  
どなたでもご参加いただけます。  
日時・2026年3月1日(日) 11時〜  
会場・知多郡東浦町森岡松原  
(はばたき歯科様お隣)

### 餅まき開催のお知らせ

建築の節目となる上棟を記念し、  
餅まきが開催されます。  
どなたでもご参加いただけます。  
日時・2026年3月1日(日) 11時〜  
会場・知多郡東浦町森岡松原  
(はばたき歯科様お隣)

現在、知多郡東浦町にて「はばたきファミリークリニック」様の新築工事が進行中です。  
木造ならではのやわらかな佇まいと、地域にひらかれた親しみやすい外観が印象的なクリニックとなる予定です。  
診療科目は、救急科・内科・小児科・美容外科・美容皮膚科。  
開院は2026年9月予定。  
地域の皆さまが健やかに、自分らしく「はばたき」お手伝いができるクリニックを目指されています。

## 〈大人2人、29坪の住まい〉



外観は、落ち着いたベージュトーンの塗り壁に寄棟屋根を合わせた、流行に左右されない佇まい。奥行きを感じさせる玄関アプローチが、品のある印象を添えています。モニターでまとめたキッチンには機能性を重視した設置。ペンダント照明やダウンライトが空間にリズムをもたらし、住まい全体にも多灯照明を取り入れることで、過ごす時間の質を大切にしたい空間づくりが感じられます。

